

『グッドバイ異邦人』

観望庵



本書の紹介

主人公北山は、総合建材メーカー「一力(いちりき)」の中堅営業幹部である。

上司から頼まれ、縁故入社 of 社員阿部を預かることになる。縁故採用社員は、今は亡きオーナー社長が昵懇だった商事会社阿部商事の社長の息子で、預かり期間約十年の内、最後の二年を預かるという話だった。

しかし彼は社交性、協調性に欠け、生え抜き社員からは敬遠され社内では「異邦人」と呼ばれている。北山は、扱いに苦心しつつ様々な課題に直面するが、阿部の知恵に助けられることも多く、試練を乗り越えていく。だが、突然阿部社長が会社を買収することになり、話は急展開する。

グッドバイ異邦人

<https://www.amazon.co.jp/%E3%82%B0%E3%83%83%E3%83%89%E3%83%90%E3%82%A4%E7%95%B0%E9%82%A6%E4%BA%BA-%E8%A6%B3%E6%9C%9B%E5%BA%B5-ebook/dp/B09R6CCT3Z>